

コードメニュー

二次元コードリーダ (FMV-DCR311)

このたびは、弊社の二次元コードリーダ (FMV-DCR311) (以降、本製品) をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ここでは、本製品のパラメーター設定ができる QR コードを一覧で説明します。

マニュアルについて

- ・本製品の接続、二次元コードやバーコードの読み取り方について、添付の『取扱説明書』をご覧ください。
- ・本マニュアルは 600dpi 以上で印刷してご使用ください。

本マニュアルの表記について

■ 本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。



操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。

■ 商標および著作権について

各製品名は、各社の商標、または登録商標です。各製品は各社の著作物です。

Copyright FUJITSU LIMITED 2014

1 QR コードメニュー

初期化

ご購入時の状態は、バーコードメニューに < > で示しています。

■ ご購入時（出荷時）の設定



▶ QR コードメニューを読ませて設定する場合は、前後に設定開始、設定終了を読み取る必要はありません。



設定開始



出荷時設定に戻す



設定終了

USB キーボードインターフェースの設定

■ キーボード言語



< 日本語 >



英語

■ 出力モード



<1バイト出力>



Shift-JIS 漢字出力



UTF-8 漢字出力

出力フォーマットの設定

■ コード ID



<付加しない>



コード ID を付加する

■ ターミネータ



付加しない



<改行キーを付加する>



Tab キーを付加する

読み取りオプション

■ 中央読み機能



<全体で読み>



中央読み

ブザー、表示 LED の設定

■ 読み取り確認ブザー



<鳴らす>



鳴らさない

■ 起動時のブザー



<鳴らす>



鳴らさない

■ ブザー音量



最大



<大>



中



小

■ 中間ブザー

POINT

▶ 中間ブザーは、連結 QR コードおよび ISBN2 段コードを読み取る場合に、鳴ります。



<鳴らす>



鳴らさない

読み取りコードフォーマット

■ UPC-A/UPC-E

UPC-A、UPC-E の読み取り



<読み取る>



読み取らない

UPC-A、UPC-E アドオン 2 の読み取り



読み取る



<読み取らない>

UPC-A、UPC-E アドオン 5 の読み取り



読み取る



<読み取らない>

■ EAN-13/EAN-8

EAN-13、EAN-8 の読み取り



<読み取る>



読み取らない

□ EAN-13、EAN-8 アドオン 2 の読み取り



読み取る



<読み取らない>

□ EAN-13、EAN-8 アドオン 5 の読み取り



読み取る



<読み取らない>

■ Standard 2 of 5/Interleaved 2 of 5

□ Standard 2 of 5 の読み取り



<読み取る>



読み取らない

□ Interleaved 2 of 5 の読み取り



<読み取る>



読み取らない

□ Standard 2 of 5、Interleaved 2 of 5 の C/D 転送の有無



< C/D をチェックしない>



C/D をチェックする

■ CODABAR (NW-7)

□ CODABAR (NW-7) の読み取り



<読み取る>



読み取らない

□ CODABAR (NW-7) の C/D 転送の有無と計算方法



< C/D をチェックしない >



モジュラス 16 で C/D をチェックする



7 チェックで C/D をチェックする

□ CODABAR (NW-7) のスタートストップコード出力



<出力しない>



出力する

■ CODE39

□ CODE39 の読み取り



<読み取る>



読み取らない

□ CODE39 の C/D 転送の有無



< C/D をチェックしない>



C/D をチェックする

□ CODE39 のスタートストップコードの出力



出力あり



<出力なし>

■ CODE93

□ CODE93 の読み取り



<読み取る>



読み取らない

■ CODE128/GS1-128

□ CODE128、 GS1-128 の読み取り



<読み取る>



読み取らない

■ GS1 DataBar

□ GS1 DataBar Omnidirectional、 GS1 DataBar Truncated、 GS1 DataBar Stacked、 GS1 DataBar Stacked Omnidirectional の読み取り



<読み取る>



読み取らない

□ GS1 DataBar Limited の読み取り



<読み取る>



読み取らない

□ GS1 DataBar Expanded、 GS1 DataBar Expanded Stacked の読み取り



<読み取る>



読み取らない

■ QR コード

□ QR コードの読み取り



設定開始



<読み取る>



読み取らない



設定終了

■ マイクロ QR コード

□ マイクロ QR コードの読み取り



<読み取る>



読み取らない

■ PDF417

□ PDF417 の読み取り



<読み取る>



読み取らない

■ マイクロ PDF417

□ マイクロ PDF417 の読み取り



読み取る



<読み取らない>

■ DataMatrix

□ DataMatrix の読み取り



<読み取る>



読み取らない

■ Maxi コード

□ Maxi コードの読み取り



読み取る



<読み取らない>

■ Aztec コード

□ Aztec コードの読み取り



<読み取る>



読み取らない

■ GS1-DataBar Composite コード

POINT

▶ GS1-DataBar Composite コードを読み取らないにした場合、GS1-DataBar を単独で読み取ります。

GS1-DataBar Composite コードの読み取り



<読み取る>



読み取らない

■ EAN/UPC Composite コード

POINT

▶ EAN/UPC Composite コードを読み取るにした場合、EAN/UPC を単独で読み取れません。

EAN/UPC Composite コードの読み取り



読み取る



<読み取らない>

■ 他の読み取りオプション

■ 書籍コード

ISBN2 段ラベルの読み取り



読み取る



<読み取らない>

新雑誌コードの読み取り



読み取る



<読み取らない>

■ 白黒反転コード

□ 白黒反転コードの読み取り



読み取る



<読み取らない>

2 付録

漢字（2バイト文字）が含まれているコードを転送する場合、読み取るコードと出力先の文字コードを合わせる必要があります。

両方またはいずれかが正しくないと、出力先の文字コードが正しく表示されません。

データを転送するアプリが、「Shift-JIS」か「UTF-8」の形式で作成されているか判別するには、「Shift-JIS」と「UTF-8」の QR コードを読み込みます（通常は、Shift-JIS で作成されています）。

■ Shift-JIS の場合

1 二次元コードリーダのキーボード言語を「日本語」に変更します。

2 「Shift-JIS 漢字出力」の設定 QR コード（→ P.2）を読み込ませてから、次の 2 つコードを読み込みます。



Shift-JIS



UTF-8

「Shift-JIS」の QR コードから正常に「あいうえお」と表示されれば、アプリが「Shift-JIS」の形式で作成されています。

■ UTF-8 の場合

1 二次元コードリーダのキーボード言語を「英語」に変更します。

2 「UTF-8 漢字出力」の設定 QR コード（→ P.2）を読み込ませてから、次の 2 つコードを読み込みます。



Shift-JIS



UTF-8

「UTF-8」の QR コードから正常に「あいうえお」と表示されれば、アプリが「UTF-8」の形式で作成されています。

二次元コードリーダ (FMV-DCR311) コードメニュー

B6FY-2631-01 Z0-00

発行日 2014 年 6 月
発行責任 富士通株式会社

〒 105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することができます。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。